

2024 SUPER GT300 Round.1 OKAYAMA ~ Race Report ~



大会概要

2024年 SUPER GTシリーズ 第1戦

大会名称

2024 AUTOBACS SUPER GT Round1 OKAYAMA GT 300km RACE

開催日時

4月13日 土曜（予選） 4月14日 日曜（決勝）

開催サーキット

岡山国際サーキット（1周：3.703km）

所在地：岡山県美作市滝宮1210

同時開催レース

なし

主催

株式会社 岡山国際サーキット／アイダクラブ(AC)

株式会社GTアソシエーション

公認

国際自動車連盟（FIA）

一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）

認定

株式会社GTアソシエーション

後援

経済産業省／国土交通省／自由民主党モータースポーツ振興議員連盟／岡山県／美作市／岡山県観光連盟／
美作国観光連盟／岡山県経済団体連絡協議会／一般社団法人岡山県商工会議所連合会／岡山県経済者協会／
一般社団法人岡山経済同友会／岡山県中小企業団体中央会／岡山県商工会連合会／山陽新聞社



◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+O



ロベルト メリ ムンタン
ROBERTO MERHI MUNTAN

生年月日 1991年3月22日
出身地 スペイン
身長 178cm
体重 70kg
血液型 RH+O

■ 代表

古場 博之

■ 監督

小倉 啓悟

■ スタッフ

チーフエンジニア
チーフメカニック

Mattia Oselladore
片岡 恵人

■ スポンサー

アスカ株式会社
C I S 株式会社
ザーレン・コーポレーション株式会社
T O N E 株式会社
D O B O T ジャパン株式会社
ニチアス株式会社
エバー株式会社
コスモ開発株式会社
岡田金属株式会社
株式会社ジョイフル設備
エクセルフィルム株式会社
M I D T O W N B B Q
カトー機械株式会社
青山エレベーター株式会社
株式会社デジテックエイチピー
株式会社マイティミズタニ
医療法人社団ヒロデンタルクリニック

朝日金属株式会社
株式会社安藤・間
城東電機株式会社
ウエスタンデジタル合同会社
株式会社リブレ
見田工作株式会社
愛知電線株式会社
笹原金型株式会社
有限会社大和工業
有限会社ます徳
アクセル有限会社
OIRC
ARMS株式会社
RAIDEN
株式会社ジョイフル設備

◆ 予 選

天候 晴れ

コース状況 ドライ

気温 27℃ (GT300クラスQ1開始時)

路面温度 36℃ (GT300クラスQ1開始時)

予選開始 14時18分 (GT300クラスQ1-B組開始)



Team LeMansは、昨年に引き続き、SUPER GT GT300クラスに参戦する。4年目となる今シーズンは、マシンをAudi R8 LMSからFERRARI 296 GT3に変更し、マシン名を「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」とした。一方、ドライバーは昨年同様、第1ドライバーに片山義章、第2ドライバーにロベルト・メリ・ムンタンを起用。チーム体制も継続し、2023シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤは、これまでどおりヨコハマタイヤを装着する。

さて、今シーズンのSUPER GTでは予選方式が変更され、Q1、Q2のタイム合算方式が採用される。GT300クラスの場合、Q1はグループA、グループBの2組に分かれてそれぞれ10分間のQ1を行い、各組の上位8台がQ2グループ1 (Upper 16th)、9位以下がQ2グループ2 (Lower 17th) に分かれて8分間のQ2に挑む。予選順位はQ1、Q2の合算タイムで決まり、上位12位は、Q2グループ1へ出走した車両の上位12位までの順、21位以下はQ2グループ2の5番手タイム以下の順。13位から20位については、Q2グループ1の下位4台と、Q2グループ2の上位4台の合算タイムを比較し、タイム順にポジションを入れ替える。なお、Q1、Q2、決勝スタートは1セットのドライタイヤを使用しなければならず、昨シーズンにも増してタイヤのマネージメントが重要になる。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：7位 (予選トータルタイム：2分53秒196／ロベルト選手：1分26秒559／片山選手：1分26秒637)

予選日の13日は好天に恵まれ、気温25℃以上の夏日となった。予選は14時ちょうどから始まり、UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは14時18分からのQ1グループBにロベルトが出走。セッション開始から少し遅れてコースインしたロベルトは、3周でタイヤをウォームアップしたあと4周目にタイムアタックを行い、1分26秒559をマーク。これがグループBの6番手タイムになり、Q2グループ1 (Upper 16th) への進出を決める。

15時11分からのQ2グループ1では、片山が4周目にマークした1分26秒637がベストとなった。これによりQ1、Q2の合算タイムは2分53秒196で、Q2グループ1のなかでは7番手になったことから、そのまま7番グリッドからのスタートが確定した。

◆ 決 勝

天候 晴れ

コース状況 ドライ

気温 26℃ (スタート時)

路面温度 39℃ (スタート時)

決勝レース開始 13時30分

レース予定周回数 82周 (約300km)



#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (片山&ロベルト選手)

決勝結果：10位 (所要時間：2時間3分23秒459=76周消化／ベストラップ：1分28秒785=片山選手)

決勝日の14日も、前日同様、夏日となる汗ばむ陽気となった岡山国際サーキットでは、青空の下、13時30分に予定どおりパレードラップが始まり、続く1周のフォーメーションラップのあと、ローリングスタートによって決勝レースは戦いの火蓋が切られた。7番手からスタートした片山はオープニングラップでポジションをひとつダウン。その直後、GT500クラスのアクシデントにより、2周目から7周目にかけてセーフティカーが導入され、8周目にリスタートが切られてからは8番手からポジションアップを狙う展開になった。

レース序盤は上位勢に順位の動きは見られなかったが、24周を過ぎたあたりから1回目のピットストップを行うチームが現れはじめる。これに対してUNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはピットインを遅らせる戦略を採り、一時6位までポジションを上げる。しかし片山のスティントの終盤にはタイヤの消耗も進みラップタイムが低下。片山は32周を終えたところでピットへと向かう。

タイヤ無交換や2本交換という戦略を採るライバルが現れるなか、Team LeMansはタイヤ4本交換を選択し、ロベルトの追い上げにかけることに。しかし、ピット作業に手間取ったこともあり、ロベルトは19位でコースに復帰する。その後、50周を終えて、全車が規定のピットストップを済ませた時点でロベルトの順位は15番手だったが、終盤を迎えても1分29秒台のラップタイムを維持するロベルトは目の前のライバルをかわして64周目に13番手、69周目には11番手に浮上。さらにファイナルラップでは10位にポジションを上げ、FERRARI 296 GT3でのデビュー戦を入賞で飾る結果になった。

FERRARI 296 GT3の導入後、最初のレースではあるものの、入賞を手にとることとなった2024シーズンの開幕戦。次戦の富士ではFERRARI 296 GT3のポテンシャルを最大限に引き出し、表彰台を狙う。

片山 義章 選手のコメント

決勝のスタートはまずまずでしたが、その直後の混雑で行き場を失い、ポジションをひとつ落としてしまいました。しかし、その後はドライビングに集中することができ、コンスタントなラップタイムで周回を重ねていきました。

スティントの終盤はさすがタイヤが厳しくなって後続車に抜かれてしまいましたが、ほぼ狙ったタイミングでピットストップを行うことができました。

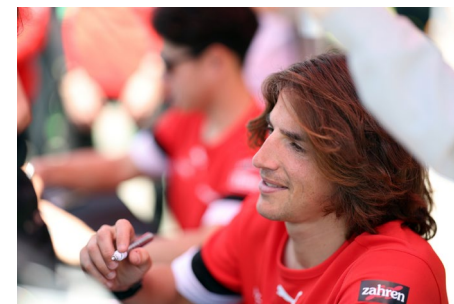
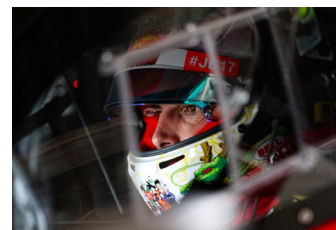
ロベルトがコースに戻ったときは思いのほか順位が下がり動揺したのですが、ロベルトが後半のスティントで頑張っ、ファイナルラップで10位を掴み取り、ポイントを獲得できたことで、次につながるレースになったと思います。次戦の富士は得意なコースなので、優勝を狙って頑張りたいと思います。



ロベルト・メリ・ムンタン 選手のコメント

自分たちには速さがあっただけに、いろいろな意味で悔しいレース結果になってしまいました。タイヤ無交換で走れるチームがいたのには驚きましたが、そういったことを含めて、まだまだ自分たちがマシンのポテンシャルを引き出しきれていないということかもしれません。

それでも、私は限界でブッシュし続けたことで、ポイントが獲得できるところまでポジションをアップできたことに満足しています。次の富士では表彰台に中央に立ちたいと思いますので、皆さんの応援、よろしくお願いします。



監督コメント

レースウィークは予想以上に高い気温になりましたが、予選は10位以内に入り、順調な滑り出しでした。ところが、決勝ではドライバー交替のタイミングや、ピット作業のミスによりポジションを落とす結果になりました。10位という結果は望んでいたポジションではなかったものの、デビュー戦でポイントを獲得できたのは良かったと思います。

作業ミスに関してはすでに原因は解明できているので、次戦までには対処し、しっかりとピットワークを行うつもりです。FERRARI 296 GT3の持つポテンシャルは高いので、今後新車に対する理解をさらに高め、その実力を最大限に生かすことができれば、必ず表彰台は見えたと信じています。

WestCove

BLUEGRASS

UNI-ROBO



zahren

TONE



Digi-Tec
INTECNO

Western Digital.

JOTO DIRECT

RiBLE



MAITY
MAITY INDUSTRIAL ENGINEERING SYSTEM

The
CELLAR
G O T T E M B A

見田工作



PROTECT by
XPEL



ニチアス

カトー機械株式会社

MIDTOWN BBQ
www.midtown-bbq.com

ESTATESALE
SUPREMACY

ASAHI 朝日金属株式会社

SASAHARA



愛知電線

OIRC